

12/17 (土)

ワンコインで伝統芸能

1部 公開稽古とお稽古体験 午後1時15分より

◆内容: 来春1月29日(日)「新春を寿ぐ」邦楽と邦舞のお稽古

子ども達の「和楽器、舞踊」

お箏、三弦、日本舞踊

大人の「謡／高砂」

謡曲(観世流 川口晃平)



観世流 川口晃平

◎お稽古体験をご希望の方(子供、大人)は足袋をご持参下さい。
※足袋はこちらでご用意することもできます。ご入り用の方は、事前お申込みの際にご注文ください。

2部 公演ができるまで 午後3時から4時40分まで

◆講師: 水口一夫 / 聞き手: 市川櫻香

松竹株式会社で数々の歌舞伎公演の演出を手がけられている水口一夫氏から、兵庫県豊岡市出石城下の明治34年開業「永楽館」永楽館歌舞伎、大塚国際美術館での東西融合のシスティーナ歌舞伎、近年の脚本「GOEMON」、片岡愛之助丈、中村壱太郎丈、上方歌舞伎の復活を伺います。特に、永楽館歌舞伎は地域活性となっています。今年の永楽館で感じたことなどと共に、水口氏の趣向、企画の元をお聞きしたいと思います。(市川櫻香)

映像と実演とお話し 午後4時から

◆映像: 能と歌舞伎とむすめ歌舞伎「本朝廿四孝」公演(平成28年10月30日上演)

◆ゲスト: 佐藤友彦 <むすめかぶき> 市川九女、柴川菜月

会場
愛知県芸術劇場 大リハーサル室
参加費
1部 500円
2部 500円
※要事前お申込み、当日精算



12/18 (日)

お茶のみ話 著書『芸道の哲学』より 午後2時から4時まで

著者 倉沢行洋氏から聞く

日本の伝統芸「心のままに匂ひゆく」とはどのような境地なのでしょう。

◆内容: 1. 歌道 2. 茶道 3. 世阿弥の妙花風 4. 名人の創造
学問・芸術・科学・技能を、人間の才能百般を通じた人生の旅について



倉沢行洋

京都大学文学部哲学科卒、同大学院修士・博士終了。文学博士。神戸大学名誉教授。宝塚大学大学院教授。専攻は哲学、芸術学、日本学。著書は『対極 桃山の美』『藝道の哲学』など多数。近年、国際伝統芸術研究会を立ち上げ、「道」の文化の発展に寄与している。



中部邦楽教室
〒460-0012 名古屋市中区千代田三丁目十番三号
地下鉄鶴舞駅6番出口より徒歩3分

会場
中部邦楽教室
参加費
1000円
名古屋の銘菓とお茶をいただきながら。
※要事前お申込み、当日精算

お問合せ

日本の伝統文化をつなぐ実行委員会

[電話] 052-323-4499 [FAX] 052-323-4575 [メール] info@musumekabuki.com

お申込み

ハガキまたはメールで「日本の伝統文化をつなぐ実行委員会」までお申し込みください。

[郵送先] 〒460-0012 名古屋市中区千代田3-10-3 [メール] info@musumekabuki.com

お名前・住所・お電話番号をご記入の上、「伝統芸能へのmanazashi」17日(1部・2部・両方)または18日の参加希望を明記ください。又、17日1部のお稽古体験をご希望の方も明記ください。